

令和7年度血液・造血器試験問題

N

以下の設問のうち正しいものに○、誤ったものには×で回答せよ。

- × 10 健康な成人男性は1日1mgの鉄を吸収し、1日1mgの鉄を喪失している。
- × ② 鉄欠乏性貧血では大球性高色素性貧血となる。
- ③ ビタミンB12欠乏性貧血は胃全摘後、6ヶ月から1年程度で出現することが多い。
- ④ 特発性再生不良性貧血の原因は多能性造血幹細胞に対する自己免疫と考えられている。
- × ⑤ 発作性夜間血色素尿症では、補体C5の働きを抑制することで溶血を軽減できる。
- × ⑥ 骨髄異形成症候群に対する化学療法には、R-CHOP療法が用いられる。
- ⑦ 急性骨髄性白血病では、末梢血あるいは骨髄に芽球が20%以上認められる。
- × ⑧ 急性骨髄性白血病では予後不良の染色体異常があっても第一寛解期に造血幹細胞移植
うことはない。
- × 90 微小残存病変陰性の急性リンパ性白血病患者の予後は、陽性の患者の予後よりも良好である。
- × 100 急性リンパ性白血病の再発例では、CAR-T療法やBi-TEを使用した治療が行われる
ことがある。
- × 110 急性前骨髄球性白血病ではt(15;17)の染色体異常が殆どの症例に認められる。
- × 120 急性前骨髄性白血病では、汎発性血管内凝固を合併しやすい。
- × 13 all-trans型レチノイン酸は慢性骨髄性白血病の治療に使用される。
- × 14 慢性期慢性骨髄性白血病の骨髄所見では、白血病裂孔が認められる。
- × 150 慢性骨髄性白血病の治療にはチロシンキナーゼ阻害薬が使用される。
- 16 ホジキンリンパ腫の治療にはA-AVD療法が使用されることがある。
- 17 ×リンパ腫に対するCAR-T療法の際にはサイトカイン放出症候群(CRS)が生じるこ
とがあるが、Bi-TE療法では生じることはない。
- 18 濾胞性リンパ腫では、治療を開始せず経過観察することがある。
- 19 急性型やリンパ腫型のATLでは、高カルシウム血症や日和見感染が合併しやすい。
- 20 ×HTLV-Iは胎盤を介して児に感染することが多い。
- 21 ⑩ 多発性骨髄腫は形質細胞の腫瘍である。
- 22 × 多発性骨髄腫の治療では抗体薬と他の薬剤を併用することはない。
- × 230 骨髄破壊的前処置と移植後シクロフォスファミド(PT-Cy)投与で、ハブ移植の成績
が向上した。
- × 24 臍帯血造血幹細胞移植はレシピエントの体重に関係なく実施できる。
- × 25 CAR-T療法は細胞療法の一つである。

疾病論 5 血液・造血器 (石崎先生)

令和7年9月18日(木)実施

1問2点

1 X	2 X	3 O	4 O	5 X
--------	--------	--------	--------	--------

6 X	7 O	8 X	9 X	10 X
--------	--------	--------	--------	---------

11 X	12 X	13 X	14 X	15 X
---------	---------	---------	---------	---------

16 O	17 O	18 O	19 O	20 O
---------	---------	---------	---------	---------

21 O	22 O	23 X	24 X	25 X
---------	---------	---------	---------	---------

-24

26 点/50点
